

明けましておめでとうございませす。

町民の皆さんにおかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、7月の西日本豪雨により、鬼北町においても、これまで経験したことがない災害規模となり、町内の道路や河川などのインフラの他、町民の皆さんの貴重な財産が被害を受けました。豪雨災害において被災された方々に對しまして、心よりお見舞い申し上げます。

今回の災害は、住宅の浸水、生活道路の寸断や、堤防の決壊、土砂崩れ、田畑の崩壊など、私の知り得る限り半世紀の中では最大規模の被害でした。災害発生以降、まず人命救助を第一に掲げ、避難所運営、被害状況確認、ライフライン確保、重大被害地域直接支援を実施してまいりましたが、まだまだ復旧の道のりは険しい状況です。

そのような中、全国各地の大勢の方々から、多くの義援金・支援金をいただき、被災者の方々に勇気づけていただきましたことに對しまして、心から感謝申し上げます。また、町内の大勢の方々のボランティア活動をはじめ、さまざまな形でご協力をいただき、重ね

て御礼申し上げます。町においても、新しく町単独の災害支援補助事業も創設しましたので、ご利用いただきましたら幸いです。今年も復興施策を継続し、一刻も早く元通りに近い姿に帰れるよう努力していきたいと考えています。

町長就任2年目となった昨今は、公約であった交通弱者対策や鳥獣害対策の実行、また、新しい施策のアイデアの具現化に向けてスピード感を持って取り組んできました。懸案である鳥獣害対策については、今年度中に大型捕獲檻の複数増設を可能とし、現在対象候補地域において、捕獲檻設置の協議を行っています。今後も町内地域への設置について努力していきます。

次に、交通弱者対策については、日吉地域において施策の試験的な実施を行っています。また、近永町部の病院とスーパー等を周回する近永地区循環バスの導入試験も1月上旬から開始します。さらに、運転免許返納者支援対策も検討し、今後もしばしば細やかな施策を展開すべく、課題を調整しながら、町内へのエリア拡大を念頭に置いて、事業を実施しようと考えています。

一方で、現在、町内各企業・事業所において困惑している一つの

課題が、雇用の確保です。業種によつては、雇用する人材が不足している状況が発生しています。これは、企業の経営規模拡大を困難にしているだけにとどまらず、平常の企業活動およびその企業存続の可否にも影響が及んできているのではないかと危惧しています。

したがって、行政側として企業誘致における雇用確保対策だけでなく、現在の町内企業等の足腰をしっかりととしていただくお手伝いも必要ではないかと考えています。その一つとして、就労支援・業務上必要な資格取得支援など、あらゆる角度から検討していきます。

「鬼のまちづくり」に関しては、行政主導ではなく、さまざまな団体の方々から活力あるまちづくりを進めていくアイデアを提案していただいております。これらを積極的に支援していくこととしています。財源は町税ではありません。町外からの「ふるさと納税」が年々増加傾向にあり、本年度現在4千万円（県内町第2位）を超えています。「鬼のまちづくり」に活用してほしいとのご要望をいただいております。町内外の鬼北町応援団の方々の想いを施策に活用することは、幅広い情報発信として

特に重要であると考えています。

さらに、町内最大の資源である「森林」を、次世代の子どもたち「財産」として残していけるような新たな施策の展開も検討しています。鬼北町の現状に對し、かつ、2次効果、付加価値が期待できる事業を模索していきたいと考えていますので、皆さんのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さんにとりまして飛躍の年となり、輝かしい一年になりますよう、心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

鬼北町長  
兵頭 誠亀

あいさつ

北へ望む未来